

ぐんまこどもの国児童会館

ニコっと通信

nicotto tsu-sin!



ニコっとちゃん

2010.1.15 第28号

発行／財団法人群馬県児童健全育成事業団



あけまして おめでとどうぞございます

本年もみなさまのご来館を、心よりおまちしております！

ぐんまこどもの国児童会館 スタッフ一同



こども観劇会

和太鼓ライブ「輪にな〜れ」

【日 時】3月7日(日) 13:30～(約1時間)

【会 場】多目的ホール

【定 員】約200名

【観覧料】無料

【観覧方法】当日、直接会場へお越しください。

【出 演】太鼓と芝居のたまっ子座



巡回展示 バランスグローブ

発電所にはどんな種類があるか知ってる？
色々な発電を上手に組み合わせ、環境を守りながら電気をつくり、発電した電気量にあわせてバランスよく電気を使います。発電量や消費量によって真ん中の地球の明るさが変わる体験型展示だよ！みんなは「きれいな地球」をつくる事ができるかな？この機会に、ぜひ体験してね！



【開催期間】平成21年12月8日(火)～
平成22年4月15(木)

【場 所】1階サイエンスワンダーランド

【協 賛】財団法人つくば科学万博記念財団

児童健全
育成講演会

子育てハッピーアドバイス ～子育てがラクになるコツ教えます～

明橋先生の講演は、どこでも大人気！ほっとするアドバイス、わきあがる笑い声！お母さん、お父さんたちに元気を与え続けています。著書の「子育てハッピーアドバイス」はシリーズ300万部を突破しています。

【講 師】明橋 大二先生(真生会富山病院心療内科部長)

【開催日】2月23日(火)

【時 間】13:30～15:30(受付13:15～)

【会 場】多目的ホール

【対 象】児童健全育成関係者及び一般

【定 員】300名(先着順)

【事前申込】1月15日(金)～

【共催】群馬県児童館連絡協議会

【後援】群馬県民生委員児童委員協議会・ぐんま地域活動連絡協議会



※託児を行います(先着20名、事前申込み)。詳細はお問い合わせください。
◎一般の方もぜひどうぞ。 ◎講演会終了後に書籍の販売、サイン会を実施します。

休 館 日

1月…4日(月)・12日(火)・18日(月)・25日(月)

2月…1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)

3月…1日(月)・8日(月)・15日(月)・23日(火)・29(月)



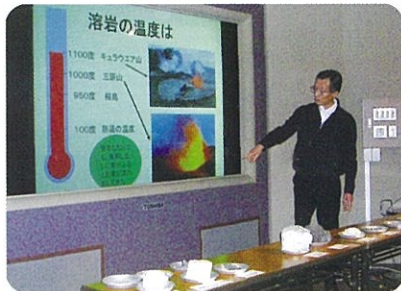
ぐんまこどもの国児童会館

〒373-0054 群馬県太田市長手町 480
TEL. 0276 (25) 0055 FAX. 0276 (25) 0059
URL <http://www.kodomonokuni.or.jp/>

ぐんまこどもの国児童会館 サイエンスプログラムのご紹介

サイエンスワンダーランドでは「スペシャルサイエンスショー」、職員解説の「プチサイエンスショー」、「科学工作」などを定期的に開催しています。今回は「石川先生のスペシャルサイエンスショー」と科学工作「もしもしバルーンをつくろう」をご紹介します。

石川先生のスペシャルサイエンスショー



今年の10月20日で20周年を迎える児童会館ですが、その開館の初めから、とってもお世話になっている石川博行先生をご紹介します。ちょっと強面の石川先生ですが、現在は太田市立北中学校にお勤めです。

11月3日は、「驚異！火山のお話」がテーマのスペシャルサイエンスショー。群馬県から世界の火山まで、噴火の瞬間や噴火後の映像や先生自作のパワーポイントを盛り込みながら、火山の構造や性格を解説していました。また、先生がご自分で収集された全国の火山岩も展示し、触れる事もできました。参加していた小学校6年生の男の子に感想を聞いたところ、「もし富士山が噴火したら、関東や東北まで被害がいくから大変だ!!」と真剣な顔で答えてくれました。また、お孫さんと一緒に参加していたおじいちゃんは「雲仙

など聞いたことのある山があった。楽しかった。」と笑顔で答えてくれました。

平成15年度から始まった石川先生のスペシャルサイエンスショーですが、静電気や音、圧力、色水など様々なテーマを取り上げて開催してきました。それ以前は「こども実験室」として他の先生方とカルメ焼き、アイスクリーム、万華鏡、笛や太鼓などを子ども達と製作をしてきました。「試作が大変だった。特にエレキギターの時。万華鏡なんて銀鏡反応を使って鏡まで作ったし。時間もお金も食うんだ!」と懐かしそうにお話ししてくれました。

テーマを選ぶ時のポイントをお聞きしたところ、「小さい子どもに説明がしきれもの。へー、アッ!と思わせるもの。装置などのつくりが複雑なものはダメ。理解に終始してしまい、楽しさの種がまけないから。」との事でした。「イメージが固まればパワーポイントなどでまとめればいい。でも、こどもの国の設備や道具立て、40分間をテーマに沿ってまとまりのあるものにするのは難しいんだよ。」とも。「始めちゃった以上、何だかずっと続いている感じがすよ。」とちょっと困ったように話す石川先生ですが、これからも、子ども達の好奇心をくすぐるようなサイエンスショーを続けてくださいな。

もしもしバルーンをつくろう

ようい 用意するもの

- ・紙コップ(2個)
- ・ビニールテープ
- ・ペンシルバルーン
- ・あなあけパンチ
- ・プラスチックのリング
- ・えんぴつ、色ペン

100円ショップ
などに
売ってるよ



- ① 紙コップの、飲みくちがわにあなあけパンチであなをあける。



- ② 2個ともあなにリングを通す。



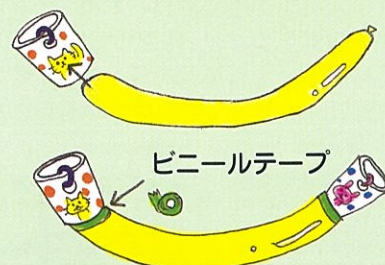
- ③ 2個とも紙コップの底をカッターでくりぬく。



- ④ 紙コップのそとがわに好きな絵をかく。



- ⑤ ペンシルバルーンをコップの底にさしこみビニールテープでとめたらできあがり!!



お父さん、お母さんから子どもたちへ… 大切なメッセージの伝え方 ～こどもの♡心を育てる?!～

講師 関東短期大学 こども学科 教授
森 静子先生



平成21年12月4日（金）に「いきいきママ講座」がありました。

「今を生きるみんなで子育てを楽しもう…子どもがいるから希望が生まれる。保育士は子育て技術の伝道者である」が持論の森 静子先生に、ご自身の子育てや、保育士・大学教授としての経験を織り交ぜながら楽しく、わかりやすく、お話をいただきました。

森先生が現在、たずさわっている子どもたちは18～19歳の子どもたちです。その子どもたちは、心に不安や失敗を恐れ、責任を負いたくないという気持ちが強いそうです。例えると就職を目の前に「初めは臨時職員で入って、1～2年して慣れてきたら正規職員として働きたい」と言う学生。また、心の悩みをなかなか人に話せず、自分を傷つけてしまう子もいるそうです。愛されているのに愛情が子どもたちに伝わりきれていないことを切ない、と話されていました。

今、子育てをするお父さん、お母さん、そして子どもたちに大切なメッセージを伝えます。

●世代間連鎖を考えよう

子どもを知るとき、親世代を理解することからはじまります。なぜなら世代から世代へ子育てが伝承されていくからです。

ある学生が「お姉ちゃんがパチンコに行く時、私が子ども（姪）をみる」と言ったそうです。それは学生が幼少期、パチンコに行く親と普通にパチンコに出かけ、そこで遊んでいた環境で育ち、それがあたりまえだったわけです。保育士を目指す彼女は授業のなかで何かを感じとり、その言葉がでたわけです。子どもは環境によって育ちます。私たちが育った環境は、私たちが育てた世代へ、そして次の世代へと…。だから、良い連鎖は続け、悪い連鎖は断ち切っていかなければならないのです。また、子どもの育つ環境を整えてあげることは、私たちが大切にしていかなければならないのです。

●心の源は、甘え（愛着）の充足からです。

赤ちゃんの特性は、オギャーと生まれた時に動けない、しゃべれないことです。できることは、泣くこと笑うことです。では、なぜ泣くこと笑うことができるのか？それは、泣くことによって、親や側にいる人がやって来て、抱き上げてもらったり世話をしてもらい、笑います。これを**応答関係**といいます。この繰り返しによって、赤ちゃんは人に対して心を繋ぎ、愛着をもち、信頼感が育ちます。普段、

何気なく行う世話を通して、応答関係をつくり愛着をもっていくわけです。

もし泣いても誰も来てくれないなら、赤ちゃんは泣く必要がないのです。この泣く、笑うの、二つができないのなら、ちょっと心配しながら子どもの様子を見なくてはいけないということになると思います。だから3歳までは、十分に甘えさせていい！それは愛着が育ち、信頼感を持たせることになるのです。（ただ、甘えさせるのと、わがままにさせるのは違いますよ！）

この愛着は、18歳19歳になっても続きます。それは、どういうことかということ「**形を変えながら甘え続けられる**」ということです。甘え続けられる存在として母親、父親がいるということは、とても大切なのです。子どもの甘えたいという気持ちがある時に、お母さんは別と思わないで、甘えたい、その心をわかってあげる。「お母さんもそう思うよ！」と気持ちを十分に伝えることをしてあげないと、自分の心をだせない、人を信用できない人間になってしまいます。人間は人と人の間でつくられていくものなのです。

また、子どもは自分で自立しようと思います。でも、あまり早く甘え（愛着）から離されてしまうと自立しきれません。自立というのは、一人でできるわけではなく、自分のことを理解してくれる家族、自分のことを良しと思ってくれる友人。そういう周りがあることによって、人は自立できるのです。だから、甘え続けられる部分というのは、形を変えながらも残しておくのは大切なのです。

●親子ユニット

体験を通さないと、子どもは学びません。やる気があって、活き活きと動く子どもを、親はみんな望んでいます。望んでいるけど子どもの成長がわからない、子どもの気持ちにもどることができないから悩めます。でも、簡単なことです。親が楽しいと思えば、子どもも楽しい。おもしろさを知れば、子どもはそれでOK！踏み出すことができるのです。親も一歩踏み出しましょう！初めが大切です。意欲から充実感、そして達成感（やる気）に繋いでいけるといいですね！

今は親子だけで生きていく時代ではなく、社会全体で子育てしていこうと考える良い時代に向かっています。小さいことでもいいから、近くにある子育て支援センターなどを利用し、笑顔で楽しく子育てをしていきましょう！そして、世代が世代を育てていく喜びを伝承していきましょう。



企画撮影

おじいちゃんとおばあちゃんのプラネタリウム 懐かしい音楽を聞きながら満天の星空を眺めよう

企画・監修
「現と懐かしい仲間」のみなさん

初！！企画撮影 おじいちゃんとおばあちゃんのプラネタリウム～懐かしい音楽を聞きながら満天の星空を眺めよう～を開催しました！！昨年の3月末にリニューアルしたプラネタリウムをもっと幅広い年齢層の方に楽しんでもらえたら、という思いを込めたこちらの企画ですが、12月12日に、太田市内の老人クラブ連合会の皆さん他170名ほどの参加がありました。

冬の星空解説やアポロ11号の映像、そして、アコーディオンとキーボード、オカリナの生演奏にのせて、「見上げてごらん夜の星を」や「ふるさと」などの、若かりし頃？を懐かしんで、当時の歌謡曲や童謡を皆さんも一緒に大熱唱した1時間でした。



ボランティアによるボランティア養成講座

「バルーンでぼうしをつくっちゃおう！」

11月26日・12月6日にボランティア養成講座「バルーンでぼうしをつくっちゃおう！」を開催しました。今回のテーマは帽子。

帽子作りは、難易度が高いということで、基本の「犬」が作れる人を対象に行いました。講師は、当館ボランティアの飯塚千砂さんで、じっくり時間をかけて教えてくださいました。キュッキュと音を立てながらバルーンを扱うみなさんの目は真剣です。時には「パン！」とバルーンが割れてしまっても、色々な作品にチャレンジしていました。できあがった帽子はとても目を引き、イベントで活躍すること間違いなし！！作り方を応用すると、クリスマスツリーにもなるそう。色々な技を習得して、自分なりにアレンジして作るのも楽しいかもしれませんね。



旅立つ補助指導員

ぐんまこどもの国児童会館には、職員と共に現場に入り活躍している補助指導員がいます。子ども達にとっては、お兄さん、お姉さんのような存在です。今回は、その中から群馬県立県民健康科学大学4年の五十嵐愛実さん、石川瑠莉さんを紹介します。



五十嵐さん



石川さん

Q補助指導員になったきっかけは？

五十嵐：子どもが好きだから。小さい頃よく遊びに来ていた施設で働きたいと思ったから。

石川：埼玉出身ですが、よく遊びに来ていました。思い出の詰まった場所で、何かできたらいいなと思いました。

Q実際に仕事をしてみて、どうでしたか？

五十嵐：多くの子ども達とふれ合うことができ、楽しくお仕事させていただいてます。子どもの目線で接すること、保護者への配慮の大切さを学びました。

石川：楽しく子ども達や保護者との接し方を学び、仕事をすると同時に私自身も童心に返り遊びに関する知識を学べて充実しています。

Q一番印象に残っているのはどんなことですか？

五十嵐：小さな子から折り紙のプレゼントをもらったり、作品が完成した時に「できたよ」と見せてきた時の笑顔が、印象に残っていて大好き。

石川：工作やパソコンで困っているとき遊び方を教えてあげると、たちまち笑顔になっていく瞬間。こちらもうれしくなって、心が和みます。

Q3月に卒業ですが、どんな道にすすみますか？

五十嵐：県内の小児病院で。児童会館での経験を生かし、子ども達に笑顔を与えられる看護師になりたいです。

石川：都内の小児病院で看護師として働きます。いつかは、保健師として働いてみたいです。

4月からは社会人として旅立つ2人。やさしい看護師として、ご活躍されることをお祈りいたします。

体を動かしてあそぼう！

寒い冬こそ、体を動かしてあそぼう！

9:30～17:00
多目的ホールで、遊べます。

1月 23日(土) なわとび

24日(日) なわとび

※W.S.「ダブルダッチにチャレンジ！」があるよ

2月 6日(土) なわとび

7日(日) なわとびで遊ぼう！

27日(土) 一輪車

28日(日) 一輪車

3月 13日(土) 卓球

紹介します

今回は11月14日(土)に鎌田児童館で行われた群馬県内児童館ミニフェスティバル(移動児童館あそびの出前事業)の様子をご紹介します。

こちらは今年度初めて行われた事業で、10月にぐんまこどもの国児童会館で行われた「群馬県内児童館フェスティバル」内で実施した「ケーキマグネットの工作」と県内の8児童館が提供して下さった「リサイクル工作」を持参し、「どろだんごのおっちゃん」こと三波川ふるさと児童館あそびの学校の山崎先生を迎えての「どろだんごの色遊び」など盛りだくさんの内容で開催しました。

当日はインフルエンザの影響でいつもより参加人数が少ないというものの、40人ほどの子ども達や保護者の方が駆けつけてくれました！



リサイクル工作コーナー
直接手にとって遊べます



泥だんごの色あそびコーナー
みんな真剣！



かわいい作品ができたよ



鎌田児童館

利根郡片品村鎌田 3946-1



皿回しコーナー